

ごくまれに
現れます

“コッホ現象”について



BCG 接種の針痕は、普通は接種後 10 日前後たないと見えてきません。
しかし、ごくまれに接種部位がこのような変化を起こすことがあります。

これは「コッホ現象」と呼ばれるものです。



1
接種後
2日

激しい変化が、
接種後 3 日くら
いまでに起こる
ことが多い



2
接種後
5日

変化が少し落ち
着いてきた



3
接種後
7日

針痕は日をおか
ず良くなっていく



4
接種後
48日

もうほとんどきれ
いになっている

コッホ現象の特徴 接種後3日以内の急激な変化（炎症・化膿など）と急激な治癒

もしコッホ現象が起こったら？

Point 1

変化に気づいたら、2～3日以内に必ず接種医を受診してください

この変化（コッホ現象）が出る場合、お子さんが知らない間に結核に感染している可能性があります。本当に結核にかかっているかどうかを、きちんと調べる必要があります。集団接種の場合や主治医と連絡が取れないときは、保健所（市区町村）にご連絡ください。ただし、救急外来を受診するほどの緊急性はありません。また現在、子どもが結核にかかる率はごくまれとなっており、調べた結果、結核にかかっていないことも多いのです。あわてないでください。

Point 2

接種の2～4週間後には、腫れも落ち着きます

接種部位の皮膚が赤く腫れ、膿を伴う変化が見られる場合でも、ガーゼを当てるなどの処置をしなくても大丈夫です。接種後2～4週間後には針痕が残る程度に落ち着いてきます。

でも、
あわてなくても
大丈夫ですよ！

